

インドのモディ首相との昼食会で考えたこと・英語の得点を急激に挙げる秘訣

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今週の月曜日、9月1日に、来日中のインドのナレンドラ・モディ首相の歓迎昼食会がありました。その昼食会には180名の日本を代表するような経済人の方々が集まり、私もその一人として参加させていただきました。東京にある経団連会館という国際会議場で2時間ほどモディ首相と昼食を共にしましたが、私は直接話をしたわけではなく、遠くのほうにいらっしゃる首相のお話をお聞きしました。
3. モディ首相が以前に日本にいらっしゃったときは、インドの西部にあるグジャラート州の知事さんでした。そのときは直接お話をしましたが、とても気さくな方でした。もともとは紅茶売りをなさっていて、そこから首相にまで上り詰めた叩き上げの政治家です。

グジャラート州の知事を6～7年間務めたときには、日本からの視察団を毎週毎週受け入れて、日本人が一番喜ぶのは何かを研究してきました。例えば、日本のビジネスマンはゴルフが好きなので、ゴルフとはどんなものなのか・ゴルフコースとはどのようなものなのかを6年間ぐらい研究なされて、最終的にはインドで一番素晴らしいと言われる国際的なゴルフコースをおつくりになりました。そして、日本の経済界の方々をお迎えしたとお聞きしています。モディ首相は、そのくらい親日家です。
4. 9月1日の昼食会では、首相からインドの現状をお聞きしました。インドは現在、人口が12億5000万人で、その65%以上が35歳以下です。35歳以下の方が全人口の65%もいるという、非常に若い国です。そのインドで今一番問題になっているのが、貧困の撲滅です。貧困を撲滅するために、働く人々や学ぶ人々をはじめとするすべての人々のスキル(技術)を開発して2020年に備えたいという思いを首相は熱く語られていました。

また、日本への期待として、日本はものづくり・ことづくり・サービスなどの質的向上が高く評価されているので、これらについてインドを支援してもらいたいということでした。特に、工業製品については不良品ゼロという「ゼロ不良」の製品を日本の力で一緒につくってもらいたいということでした。

さらに、インドの人々には生きるためのスキルとしてビジネスマナー・躰も身に付けてほしいの

で、その分野においても日本に支援をお願いしたいと熱く語られていました。

5. インドは 12 億 5000 万人のうちの 65 %以上が 35 歳以下という若い国ですので、日本はこれからもインドと協力してお互いの経済の活性化・インドの貧困の撲滅・日本の不況からの脱却を図っていきたくとも思いました。首相となって日本にいらっしゃったモディ氏に久しぶりにお会いでき、私にとっても嬉しい昼食会でした。
6. さて、次は、勉強の仕方について少しお話をさせていただきます。「学校で英語を勉強していても、開倫塾のような学習塾で英語を勉強していても、学校の英語のテストでなかなかよい点数が取れない・模擬試験を受けてもよい点数が取れないし、よい偏差値も得られない・真面目にやっているのに、一向に成績が上がらない。なぜなのか」という質問がたくさんありますので、その質問に答えさせていただきたいと思います。
7. 答えは簡単です。学校や塾の授業に真面目に取り組んでも、それがなかなか点数として表れてこない理由は一つで、学んだことが身に着いていないからです。唯それだけです。いくら授業を真面目に聴いても、学んだことが身に着いていなければ点数となって表れません。
8. では、どのようにすると身に着くのでしょうか。ほかの教科も同様ですが、特に語学で大事なものは復習することです。授業で学習したことは必ず復習してもらいたいと思います。
9. 復習の仕方は、まず、その日の授業で学習したことと今までに学習したことを声に出してゆっくりと読みます。問題集をやるときは、解答や解説を学校の教科書を読むときと同じような丁寧さで声に出して読みます。声に出して読んでいると、「これは大切だな」と思う語句や表現が出てくると思います。

そこで次は、その大切だと思った語句や表現、あるいは、自分にはあまり身に着いていないなと思う語句や表現、つまり、あまり読めないな・正確に書けないな・意味がよくわからないなと思うものに下線(アンダー・ライン)を引きます。

そして、その下線を引いたものをノートに書き写します。ノートの左側には英語を、右側には日本語を書きましょう。その上で、英語を見て日本語が言えるようにし、それができたら日本語を見て英語が言えるようにします。これを 1 行ずつ行い、最終的には日本語を見て英語が書けるまでにします。ここまで行くと、学習した内容が身に着き、テストの点数も非常に上がります。

そのあとはもとに戻り、教科書やそのほかの学んだものを繰り返し読んでください。これが、英語のテストの得点を急激に上げる秘訣ですので、ぜひお試しください。
10. 皆さんも勉強の仕方をいろいろと工夫し、よい点数を取っていただきたいと思います。